

総合学科高校とは？

(青梅総合高校の取り組み)



充実した キャリア教育

将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深める学習を、1年次では週2時間「産業社会と人間」の授業で、2年次では週1時間「総合的な学習の時間（13期生まで）」「総合的な探求の時間（14期生より）」で行います。本校では、学習活動・学校行事・部活動・国際理解・生活指導など全ての教育活動をキャリア教育ととらえ、10年後、20年後の自分の未来を考え、夢を現実に変える力を養う教育を行っています。

普通教科に加えて、一人一人の未来の可能性を広げる様々な科目を選択して学習するのが特色です。本校では、自分の進路や興味にあわせて《自分だけの時間割》をつくります。選択科目として、多様な進路目標に応じて、受験対応の科目や体験型の科目など、約100講座以上の選択科目《①文科・理科 ②国際・文化 ③自然・環境 ④食品・生活 ⑤健康・人間の5系列》が設置されています。系列は、学科・コースではありません。系列はあくまでも選択の目安です。複数の系列にまたがった選択ができます。また、選択科目の多くが少人数で行われているため、きめ細かい指導を受けられます。

進路実現のための 多彩な選択科目

さまざまな 体験活動・学習

本校には、水田、畑、広大な演習林を含めた充実した施設と設備があります。

- 農業や環境を学ぶ……田植え・稲刈り・茶摘み・植物の栽培やその活用など
- ボランティアに参加する……森林保全活動、地域のイベントへの参加など
- 進路の視野を広げる……大学訪問、職業人講話、インターンシップなど
- グローバルな視点を育てる……現地校との交流を柱としたグアム海外修学旅行、カントギムナジウム校（独）との短期交換留学など

本校の卒業生は、一人ひとりが自分の将来の姿を熟考し、大学・専門学校・民間企業・公務員と自分なりの1つの道を選んでいきます。「いろいろな進路の人がいたから刺激的だった」と卒業生たちは言います。

総合学科では、班単位で、クラス単位で、学年単位で「グループ討論」や「プレゼンテーション」をする場面が数多くあります。ここで培われた「探究心」と「プレゼンテーション能力」は進路を切り拓く大きな力になることでしょう。

「探究心」と 「プレゼン能力」

2020 新大学入試 制度に向けて

2020年度から、大学入試が大きく変わります。

英語の「読む」「書く」「話す」「聞く」の4技能の習得に向けて「GTEC」を1年次から導入している他、1、2年次に語学研修として、「東京グローバルゲートウェイ」で丸1日過ごし、「話す」「聴く」の2技能の上達を目指します。

e-ポートフォリオに向けて、「Classi」を導入し、「学習動画」や「WEBドリル」などの学習コンテンツのほか、大学出願時に求められる高校生活の学習・活動の情報蓄積や学校との連絡に用いています。

今まで通り、学力の向上に向け、自由選択科目の演習科目はもちろん、必修科目でも少人数授業（国語総合（古典）、数学、英語）を実施しています。空き時間も学習する環境として、7つの自習室（約200席）や図書館を充実させ、部活動との両立もさせます。放課後や長期休業中には、授業内容を補う補習・補講や大学の一般受験に向けた講習を実施し、さらに生徒の学力を向上させます。